

委員会調査

新しい年度が始まり、臨時会で各常任委員会への議員の所属が決定すると、ただちに委員会は起動します。最初に、各委員会です管する事務範囲を確認し、管内の所管部門を視察します。現況や課題を認識し、前年度から引き継いだ事項もあわせ、大きく活動方針を決定します。

総務企画委員会

5月25日、総務企画委員会の所管する事業について調査するため、管内（市内）における現地視察を行いました。



まちなみバスの現地視察

〈まちなみバス〉
本年3月から市内全域において、実証運行を開始しています。新

たな公共交通の体系を整えるため高山市公共交通連携計画に基づいて行っているものです。今回、新しく運行を開始した中心市街地バス（まちなみバス）の路線及び利用実態等について調査を行いました。まちなみバスは公共施設・病院・商店街・観光施設などを中心に巡回しており、利用者からは「有難い」との声も伺いました。

〈アンテナショップ〉

高山の情報発信基地として、市内本町2丁目に「まるっとプラ

ザ」の名称でオープンしています。各支所地域を含めた市内全域でのイベント情報・観光・アクセス等を案内し、あわせて特産品などを販売しています。視察時は平日ということもあり、お客様は少なめでしたが、市内全域の観光情報や特産品の買物が出ることから、市民や観光客の方々にも喜んで頂いており、高山をアピールする拠点として期待されている施設です。

〈高山市消防本部〉

消防通信指令システムについて説明を受けました。火災や救助、救急や支援、及び警戒などの出動の系統について通信指令室の中枢を視察しました。平成22年度の救急出動件数は3424件で、1日平均9.4件。搬送人員は3286人であり、事故種別では急病が2108人と全体の62%を占めているとの報



まるっとプラザ

告を受けています。

- ※その他の視察先
- ・〈高山市公文書館〉
- ・〈こくふ交流センター〉
- ・〈飛騨高山ビッグアリーナ防災備蓄倉庫〉

【本年度の活動重点項目】

本年3月から新しくなった公共交通体系について、高山市は地域公共交通連携計画を策定し議論してきました。幹線バス・中心市街地バス・地域バスとの連携を図り、市民が生活する上で必要かつ最低限の移動手段確保を目的とするものです。

今後本格運営に向け、持続可能で必要とされる公共交通の確立

に向け調査する予定で
①公共交通について

②公契約制度について

福祉保健委員会

5月27日、福祉保健委員会の所管する事業について調査するため、管内（市内）における現地視察を行いました。

〈一之宮公民館「つどいの広場」〉

「つどいの広場」は、子育て支援の一環として市内に11箇所設置されたものです。情報交換や仲間づくりのほ



一之宮つどいの広場

か、悩み事相談ができる身近な場所として、利用価値の高い施設です。

しかしながら、施設それぞれの設置環境が異なっていることから、利便性などにも違いがあり、利用される皆様にさまざまなご意見をいただいています。

一之宮地区からも改善の要望が出ており、視察後には、「利用者を含めた住民の意向を踏まえたうえで、早急に新たな場所に開設すること」を、「委員会の意見」として行政に伝えました。

〈荘川診療所〉

「診療所の待合室が